

ヒアリングを踏まえた事業者・団体への追加質問 及びその回答(第9回会合分)

1. NGNのISP接続(PPPoEとIPoE)当面の方向性(案)について
2. NGNのネットワーク管理方針について

平成29年12月22日
総務省 総合通信基盤局
電気通信事業部 料金サービス課

目次

1. NGNのISP接続(PPPoEとIPoE)当面の方向性(案)について

	質問	対象	ページ
9-1	IPoEのゲートウェイルータは、どのような機能を果たしていて、本当に必要なのか。	NTT東日本・西日本	2

2. NGNのネットワーク管理方針について

	質問	対象	ページ
9-2	優先クラスの packets とベストエフォートクラスの packets の packets あたり料金比はどの程度を想定しているのか。	NTT東日本・西日本	3

9-1

IPoEのゲートウェイルータは、どのような機能を果たしていて、本当に必要なのか。

【NTT東日本・西日本】

回答

- NGNのIPoE接続のゲートウェイルータは以下の機能を果たしています。
 - ① ネットワーク同士を接続するためのゲートウェイ装置としての一般的な機能
 - － インターネット経由の不正パケットの流入等からNGNを保護する機能。具体的には、ゲートウェイルータがパケットを受信した際に、宛先IPアドレスを確認し、宛先が通常の通信では想定していないNGN網内の装置宛であった場合、網内にパケットを疎通させないように破棄。
 - － NGNと他社ネットワークとの接続用のルータを個別に設置することにより、迅速な故障箇所の切り分けを可能とする機能。
 - ② IPoE接続のゲートウェイルータとして特化した機能(ソースベースルーティング機能)
 - － VNE事業者のネットワークへの通信に関して、送信元アドレス(エンドユーザに付与されたIPv6アドレス)に基づき、エンドユーザの契約に応じたVNE事業者のネットワークにパケットを転送する機能。
- 上記の機能を果たすゲートウェイルータをNGNと他社ネットワークとの間に設置することで、NGN内の装置の保護を集中的に行い、NGN網内の故障箇所の切り分けを迅速に実施することを可能としています。
- また、ゲートウェイルータを設置することによって、接続するVNE事業者にも以下のメリットがあります。
 - ① NGN内装置の故障等がVNE事業者に及ぼす影響(故障等に関する情報交換の手間やVNE事業者が提供するサービス停止等)を最小化できること
 - ② 装置増設等について、NGN内の装置等から独立した検討が可能となること
- 以上のことから、当社としては、引き続き、NGNにおいてゲートウェイルータを設置する考えです。

9-2

優先クラスの PACKET とベストエフォートクラスの PACKET の PACKET あたり料金比はどの程度を想定しているのか。

【NTT東日本・西日本】

回答

- NGNの中継ルータ・伝送路について、現行算定方法で帯域換算係数を加味しなかった(コストドライバをトラフィック量のみとした)場合、優先クラスとベストエフォートでは PACKET 単価は同額です。
- 優先クラスとベストエフォートの PACKET 単価が同額となると、全ての通信において優先クラスが選択されるおそれがあり、結果として、優先クラスが現在のベストエフォートと同じ品質になってしまう可能性があることが課題と考えています。
- 平成30年度接続料においては、一旦、帯域換算係数を加味しないトラフィック量でコスト配賦することとしますが、平成31年度以降の接続料については、NGNの共用設備に係る設備コストの発生態様の実態を反映した場合の影響等について検討のうえ、料金算定に反映させていく必要があると考えています。